

# 大京都2019 in 京丹後

Great Kyoto 2019 in Kyotango

京都府では、アーティストが地域交流しながら創作活動を行うことで地域住民に幅広い文化芸術に触れる機会を提供し、地域の活性化へ繋げる取組としてアーティスト・イン・レジデンス事業「京都:Re-Search」を実施し、地域が本来持っているポテンシャルやその魅力をアート視点から引き出すを試みています。今年度は、2018年度に行った「京都:Re-Search 2018 in 京丹後」でのリサーチをもとに、アーティストによる地域の新しいアートドキュメント(=記録)を作成する『大京都2019 in 京丹後』を開催します。参加アーティストは、「京都:Re-Search 2018 in 京丹後」への参加アーティスト5名と、昨年度講師として招き、京丹後を共にリサーチしたSIDE COREをゲストアーティストに迎え、約2ヶ月におよぶ滞在制作と、そのプロセスを京丹後市内各所で公開し発表します。

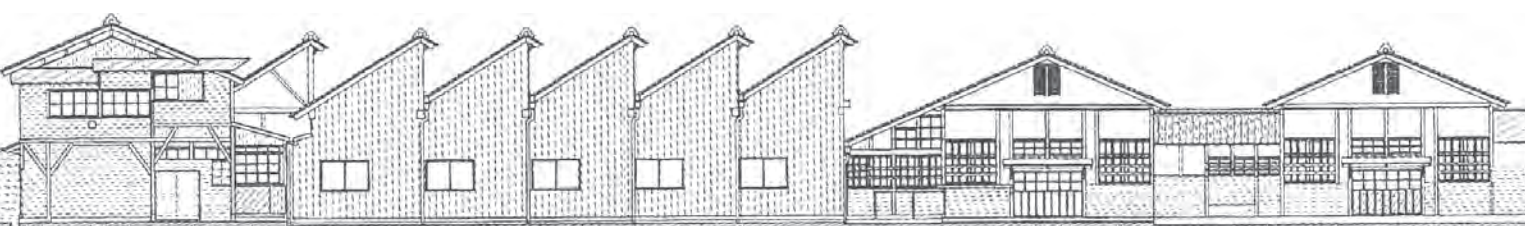
## アーティスト・イン・レジデンスとは

芸術制作を行う人物を一定期間ある土地に招聘し、その土地に滞在しながら作品制作を行うチャンスを提供する事業のこと。日本国内ではアーティストの育成や支援だけでなく、空き家・商店街の空店舗を活用した地域振興や人の交流による地域活性化の手段として用いられている。

# 風景泥棒

Landscape Rippers

なにやら怪しげな響きですが、実際に何かを盗むわけではありません。今回私たちの意味する風景とは「目で眺める景色」だけではなく、人の営みや文化、歴史もその土地の風景であると考えました。展示をするアーティスト達は、そのような広義の風景を調査/介入し、「風景を変化させる」ことをアイデアとして作品を制作します。当たり前に見える日常の風景が、作品鑑賞をきっかけに「全く違ったものに見えてしまう」ということがあります。そのような人が風景に向ける「眼差しの転換」を「盗む」と形容しました。転換された眼差しは、全く異なる場所の景色を見るときにも影響します。目に映る風景がまるで誰かの絵の中の世界に感じたり、壁の落書きが見知らぬ外国の土地を思い起こさせたりという体験です。是非ともこの京丹後で生まれた風景を、あなた自身の目に焼き付け(インストール)に展示会に遊びにきてください。それは京丹後に暮らすみなさんにとって新鮮な目で街を再発見するきっかけになるかもしれませんし、初めて京丹後を訪れる方々にとっても、自分自身の街をみる眼差しを転換するきっかけになればと考えています。展示は京丹後の近代化を象徴するちりめん織の名家「吉村商店」の巨大工場跡、そして同社の文化遺産「桜山荘」にて開催されます。普段立ち入ることができない特別な場所を見る機会にもなります。是非ともご高覧ください。



### 電車でのアクセス

京都	JR山陰本線+京都丹後鉄道 約2時間30分	峰山
大阪	JR福知山線+京都丹後鉄道 約2時間40分	

### 車でのアクセスと駐車場

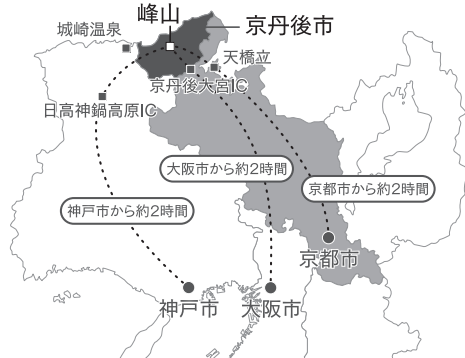
京都	京都縦貫道経由 約1時間50分	京丹後(峰山)
大阪	京都縦貫道経由 約2時間10分	

※峰山駅または展示会場周辺の駐車場をご利用下さい。

### バス時刻表

会場は菅峠バス停から徒歩1分、桜山荘まで徒歩4分

峰山駅▷菅峠		菅峠▷峰山駅	
10:25	10:31	11:56	12:03
13:10	13:16	14:26	14:33
14:53	14:59	15:56	16:03



問合せ先 京都:Re-Search実行委員会 事務局 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府文化スポーツ部文化芸術課内  
電話番号 075-414-4279 Eメール bungei@pref.kyoto.lg.jp ウェブサイト kyoto-research.com  
□発表期間内の展示・パフォーマンス・ワークショップなどの開催場所・時間・参加費・申し込み方法は公式サイトなどで随時発表していきます。



参加アーティスト

Artists

石毛 健太

ISHIGE Kenta

高橋 臨太郎

TAKAHASHI Rintaro

田中 良佑

TANAKA Ryosuke

前谷 開

MAETANI Kai

鷺尾 怜

WASHIO Ray

ゲストアーティスト

Guest Artist

SIDECORE

サイドコア

招聘アーティスト

Invited artist

パスカル アンベール

Pascal Humbert

「もうひとつの京都」アートプロジェクト

京都府アーティスト・イン・レジデンス事業 展覧会

kyoto-research.com

地域の魅力を  
アートの視点から

2019 in  
京丹後  
KYOTANGO

風景泥棒  
Landscape Rippers

# 大京都

日時

2019/10/11[金]-14[月・祝] | 18[金]-20[日] | 25[金]-27[日] | 9:00-17:00

会場

吉村機業(株)旧織物工場 / 桜山荘 / 他 | 入場無料 |



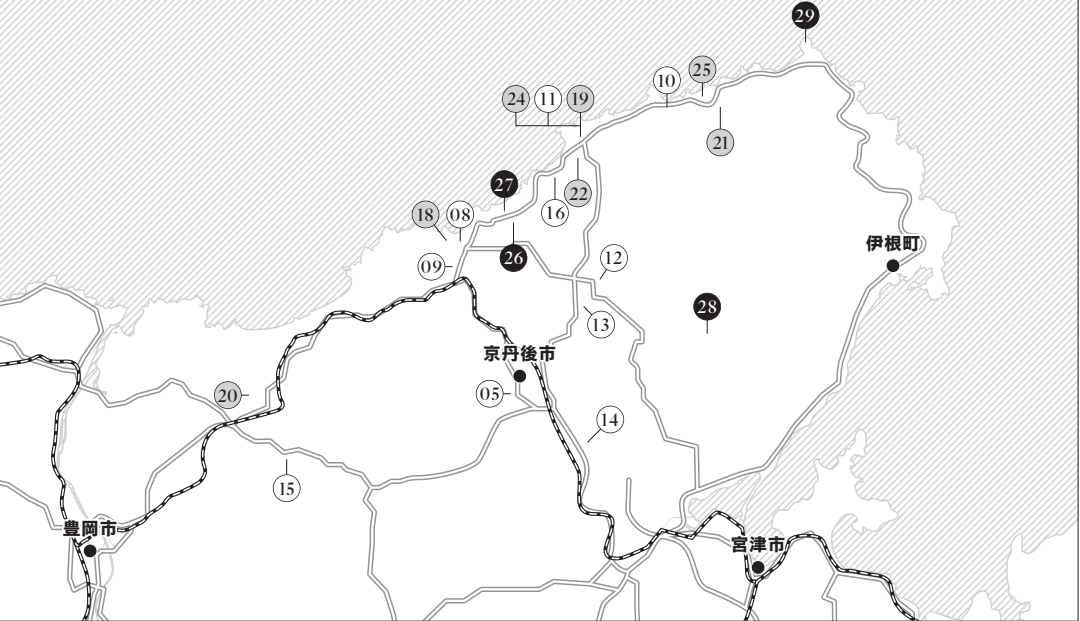
平成31年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

主催=京都:Re-Search実行委員会(京都府、京丹後市ほか) 協賛=荒山未来塾 一般社団法人京丹後青年会議所 舞鶴海上防衛部 海イノベーションクラブハウス FMたんごラジヲ 桜引浜鳴き砂文化館 琴引浜の鳴り砂を守る会 山田産業株式会社 京都府織物・機械金属振興センター 京丹後織物工業組合 梅本農場 株式会社吉村商店 吉村機業株式会社 VOU/権 写真=経堂燈台

京都:Re-Search  
kyoto-research.com







## 食べる

- |  |
|--|
| Food   |
| <b>01</b> 【きののや】 11:00～14:00/17:00～22:00<br>定休日=毎週月曜日 / 第4火曜日                    |
| <b>02</b> 【みその】 昼 12:00～14:00 夜 18:00～20:30<br>定休日=日曜日 / 祝日                      |
| <b>03</b> 【栄】 定休日=土曜日 / 第3日曜日  |
| <b>04</b> 【Restaurant 緑Enishi】<br>11:30～14:30 / 18:00～23:30 定休日=木曜日              |
| <b>05</b> 【カフェミツバチ】 11:00～17:30 定休日=水曜日  |
| <b>06</b> 【たこ笑】 10:30～19:00 定休日=水曜日  |
| <b>07</b> 【Barベリーニ】 19:00～1:00 定休日=月曜日   |
| <b>08</b> 【uRashiMa】 11:30～19:00 定休日=木曜日   |
| <b>09</b> 【とり松】 昼 11:00～14:00/夜 17:00～21:00<br>定休日=毎週火曜日 / 第2第4月曜日               |
| <b>10</b> 【レストこのしろ】 11:00～16:00 定休日=火曜日  |
| <b>11</b> 【地産食堂HISAMI】 11:00～14:30/17:00～22:00<br>定休日=水曜日                        |
| <b>12</b> 【キコリ谷カフェ】 11:00～16:00(平日)<br>10:00～17:00(土日) 定休日=月曜日 / 木曜日             |
| <b>13</b> 【だいまるしょうゆカフェ】<br>10:00～15:00/11:00～14:00(ランチ)<br>定休日=月曜日※月曜日が休日の場合は火曜日 |
| <b>14</b> 【ゴジアミGOZIAMI】<br>11:30～14:00/17:30～23:00 定休日=火曜日                       |
| <b>15</b> 【wakuden MORI】 10:00～18:00 定休日=火曜日                                     |
| <b>16</b> 【あんじゅ】 お昼ごろから17:00 定休日=不定休   |
| <b>17</b> 【スーパーにしがき駅前店】 9:30～21:00   |

## 泊まる

- |   |
|---|
| Stay  |
| <b>18</b> 【万助楼】<br>網野町浅茂川366 TEL=0772-72-0145               |
| <b>19</b> 【とと屋】<br>丹後町間人566 TEL=0772-75-2639                |
| <b>20</b> 【HOLIDAY HOME】<br>久美浜町向磯2575 TEL=0772-83-3131     |
| <b>21</b> 【宇川温泉 よし野の里】<br>丹後町久僧1562 TEL=0772-76-1000        |
| <b>22</b> 【炭平】<br>丹後町間人3718 TEL=0120-42-0680                |
| <b>23</b> 【吉翠苑】<br>峰山町杉谷943 TEL=0772-62-5111                |
| <b>24</b> 【てんきてんき丹後オートキャンプ場】<br>丹後町竹野313-1 TEL=0772-75-2525 |
| <b>25</b> 【高嶋オートキャンプ場】<br>丹後町上野                             |
| アーティスト関連施設  |
| <b>26</b> 【鳴き砂文化館】  |
| <b>27</b> 【ネイチャークラブハウス】                                     |
| <b>28</b> 【細川ガラシャ隠棲の地】                                      |
| <b>29</b> 【経ヶ岬灯台】   |
| レンタカー   |
| <b>【ニコニコレンタカー峰山店】</b> TEL0772-69-5111                       |

### モデルコース

<b>〈日帰りプラン〉</b>	
09:24	京都駅 ↓(JR特急+丹後鉄道)
11:59	峰山駅 ↓(峰山タクシー TEL=0772-62-0018) 昼食 みその ↓(徒歩15分)
13:20	吉村機業(株)旧織物工場にて アート鑑賞 ↓(徒歩5分)
14:50	桜山荘にてアート鑑賞 ↓(徒歩10分)
15:30	金刀比羅神社参拝 ↓(徒歩7分)
16:19	峰山バス停 ↓
16:45	琴引浜バス停 ↓ 琴引浜散策 ↓(EVタクシー TEL=0772-42-0321)
18:33	網野駅 ↓(丹後鉄道+JR特急)
21:19	京都駅

### 〈宿泊プラン〉

09:24	京都駅 ↓(JR特急+丹後鉄道)
11:59	峰山駅 ↓(徒歩1分) 昼食 きくのや ↓
13:10	峰山駅バス停 ↓
13:16	管峠バス停 ↓(徒歩4分)
13:20	桜山荘にてアート鑑賞 ↓(徒歩5分)
14:00	吉村機業(株)旧織物工場にて アート鑑賞 ↓(徒歩5分)
15:30	金刀比羅神社参拝 ↓(徒歩7分)
16:19	峰山バス停 ↓
16:32	網野駅バス停 ↓迎車
16:45	「万助楼」宿泊

### 2日目

10:00	浅茂川周辺散策 ↓
11:00	昼食 uRashiMa ↓(八丁浜シーサイドパーク経由)
12:51	小浜バス停 ↓
13:46	経ヶ岬バス停 ↓(徒歩約20分) 経ヶ岬灯台 ↓(徒歩約20分)
15:40	経ヶ岬バス停 ↓
17:01	峰山駅バス停 ↓(徒歩2分) スーパー「にしがき」 郷土料理ばら寿しを買う ↓(徒歩4分)
17:40	峰山駅 ↓(丹後鉄道はしだて特急)
20:21	京都駅

お車でお越しの際も同様のコースをご参考ください。

#### 参加アーティスト Artists

## 石毛 健太

ISHIGE Kenta

美術家 インディペンデント・キュレーター DJ



《荒れ野の声 AM / FM》  
「荒れ野の声 AM」は漂流物たちを導線と接続した大きなラジオだ。国の内外を問わない様々な場所から発信された音声を、国の内外を問わず様々な場所から流れ着いた物たちが時間や距離を飛び越えて受信する。「荒れ野の声 FM」は京丹後市内のどの地域で受信可能だ。ラジオのダイヤルを79.4MHzに合わせてみていただきたい。また、この放送はインターネットで聞けるサイマル放送を行っております。詳しくはFMたんごホームページをご覧ください。FAXは0772-62-7945、メールは794@fm-tango.jp、みなさんからのメッセージお待ちしております。

1994年 神奈川県生まれ。2018年 東京藝術大学大学院修士課程修了。物語の読み替えや都市論の再考等をテーマに製作する。「カーゴ・カルト in KENPOKU」(茨城・2017)「Escape from the sea」(クアラルンプール・2017)「変容する周辺 近郊、団地」(東京・2018)「生きたれた庭」(京都・2019)

## 高橋 臨太郎

TAKAHASHI Rintaro

アーティスト



《Mezzo scratcher》  
丹後では、かつては夜に織機の奏でるリズムが止まると、二階で寝ている子供が泣き出したという。織機の奏でるリズムは海に拡散し、山にこだましていた。織機の多くは今では停止しているが、原風景として確かに地域の人の身体に刻み込まれている。今回のリサーチでは土地の音、特に織機の奏でる音を軸に記憶や歴史をサルベージして、旧織物工場の停止した織機の並ぶ空間でインスタレーションを展開する。

1991年 東京都生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科後期博士課程在籍。パフォーマンスや音楽演奏等、自身の身体によって空間に働きかける表現をする。「スケールヒア」(個展)(ブロックハウス 東京・2019)「そとのおそび展」(市原湖畔美術館、千葉・2018)

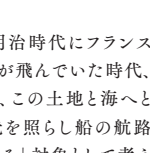
-----

#### ゲストアーティスト Guestartist

## SIDECORE

サイドコア

アーティスト



《岬のサイクロプス》  
岬の先端には1つ目の巨人がいる。明治時代にフランス万博で買い取られてきてから、戦闘機が飛んでいた時代、巨大な地震が起こった時代を超えて、この土地と海へと眼差しを落とし続けてきた。巨人は光を照らし船の航路を示すことから、多くの人から「見られる」対象として考えられている。しかし過去には、巨人は船や海の安全を監視する「見る」役割を担っていた。フランス人アーティスト、オデュロン・ルドンの名画「キュクロプス(サイクロプス)」では、山からひょっこり顔を出してガラテイラという女性を優しく見守っていた。現在この経ヶ岬のサイクロプスは何を見つめているか？

-----  
2012年から高須咲恵と松下徹により活動を開始。2017年より西広太志が加わる。美術史や歴史を背景にストリートアートを読み解く展覧会「SIDE CORE -日本美術と「ストリートの感性」-」(2012)発表後、問題意識は歴史から現在の身体や都市に移行し、活動の拠点を実際の路上へと広げている。[rode work] (Reborn-Art Festival 宮城県石巻・2017)「そとのおそび」(市原湖畔美術館・2018)

## 田中 良佑

TANAKA Ryosuke

アーティスト



《夜が嘆きに包まれても》  
僕は京丹後7姫伝説の切支丹「細川ガラシャ」に興味を持ち、彼女が過ごしていたという味土野を訪れた。そして、現在その地に住む二人だけの村人の方の一人、元シスターの女性に話を何うことから始めた。そして村の施設「ガラシャ荘」に泊まらせてもらい、僕はそこで本当の夜の暗さを知った。この作品は、本当に暗い夜に包まれながら、ガラシャが祈っていたらうこと、祈らざるをえなかった痛切な何かー現代につながるその孤独について、わずかにでも想像しようとする潜在の記録です。

-----  
1990年 香川県生まれ。東京都在住。東京藝術大学大学院修士課程美術研究科壁画専攻修了。「社会の中のそれぞれの「私」という言葉を大切に、この世界で生きるそれぞれの人生の可能性を探る。「社会の芸術フォーラム展/躊躇」(2016)「国立奥多摩映画館」(2016)「西荻映像祭 2017-不可分な労働と表現」(2017)「美学校・キグメンタ2018/ 明暗元年」(2018)

## 前谷 開

MAETANI Kai

アーティスト



《scape》  
風景について、日本列島を形成した地殻変動について。ここにある自分の身体と、かつて、そこを通り過ぎたものたち。関係しながら、おそらく出会うことのないものたち。誰もが知っていて、これから少しずつ思い出すこと。

-----  
1988年 愛媛県生まれ。滋賀県在住。2013年 京都造形芸術大学大学院 芸術研究科表現専攻修了。自身の行為を変換し、確認するための方法として主に写真を使った作品制作を行う。「六本木クロッシング2019展:つないでみる」(森美術館 東京・2019)「六甲ミーツ・アート2016」(六甲山高山植物園 兵庫・2016)「ハイパートニック・エイジ」(京都芸術センター・2015)

#### 招聘アーティスト Invited artist

## パスカル アンベール

Pascal Humbert

ミュージシャン / 作曲家



## トゥリー ロリタ

Tree Laurita

造形作家



《EMMÉLEMENT -もつれ-》  
糸と結び目  
京丹後の伝統である絹織物から発想を得た作品。文字通りでもあり比喩でもある、人と人をつなげる糸、そしてそこから生じる結び目ともつれについての考察。私たちの現在の緯糸を紡ぐ過去のエスプリ。  
〈招聘アーティスト〉  
京都府とフランスオクシタニ州の両地域間でのアーティスト・イン・レジデンスを中心とした文化交流交換プログラム

-----  
パスカル・アンベール：1959年 パリ生まれ。フランスと米国で多くの音楽プロジェクトに参加。米国には22年間在住。長編映画の音楽と舞台音楽も作曲。トゥリー・ロリタ：1966年 米国カリフォルニア州カノガパーク生れ。デンバーに在住し、抽象絵画作品を展示。2011年にフランスに移住し、ビデオ作品も創作。

## 鷺尾 怜

WASHIO Ray

アーティスト



《sand and water》  
貴重な資源を守り伝えていく過程で失われるリアリティがあります。より多くの人を知ってもらおうとすることで起きるものですが、そこにあるのは人々の偏愛ともいえる尊い態度です。今作では、鳴き砂で有名な琴引浜で行われてきた保全活動をきっかけとして資源の分配や、土地の区画について考えます。琴引浜を固有の場所から引き剥がし、再現可能なものとして編集したもの《sand and water》を会場へ持っていきます。

-----  
1995年 東京都生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻在籍。日常生活で感じる作品の不要性を克服することによって生まれる違和感をテーマに制作を行う。「クロスポイント」(東京・2017)「大彫刻 フェア」(京都・2018)「セコンドハンド」(東京・2018)

#### 会期中プログラム

10月12日(土) 15:00  
『アーティスト×キュレータートーク』  
和多利浩一×SIDE CORE×参加アーティスト  
京都市内会場=VOU/樺  
〒600-8061 京都府京都市下京区筋屋町137  
TEL=075-744-6557

京丹後会場=桜山荘  
〒627-0041 京都府京丹後市峰山町菅

トークゲスト  
和多利 浩一 | Koichi Watari  
1960年、東京都生まれ。ワタリウム美術館CEO。早稲田大学社会科学部卒業。1990年、ワタリウム美術館設立。1992年国際展「ドクメンタ9」で初の日本人スタッフとして参加。1995年、第1回ヨハネスブルグ・ビエンナーレの日本代表コミッショナー。東京都写真美術館の作品購入評議員、(公)岡本太郎記念芸術振興財団理事などを歴任。地域ボランティア活動として「原宿・神宮前まちづくり協議会」を発足させ、その初代代表幹事を務める。

-----  
10月13日(日) 13:30 / 15:00 (2回)  
『展示ツアー』

10月26日(土)  
『展示ツアー / クロージングパーティー』  
※会期中のパフォーマンス・イベントなどの詳細についてはウェブサイトにて随時発表していきます。

#### 京丹後市内、周辺での祭りや主なイベント

『金刀比羅神社秋祭り』  
日程=10月12日 / 13日 会場=京丹後市峰山町 金刀比羅神社  
『光のアトリエ〈太古から未来へと続くみち〉』  
日時=9月13日～11月4日(金・土・日・祝) 18:00-21:00  
会場=元伊勢龍神社

『城下町七万石 和火』  
日程=10月12日 / 13日 会場=宮津市街 / 寺町界隈  
『神谷太刀宮大祭』  
日程=10月12日 / 13日  
会場=京丹後市久美浜町 神谷神社及び久美浜一区

『丹後きものまつり in 天橋立』  
日程=10月20日 会場=宮津市天橋立周辺

『久美浜まるかじりまつり』  
日程=10月20日 会場=京丹後市久美浜町浜公園  
『日本三景天橋立ふゆ花火』  
日程=10月27日 会場=宮津市天橋立阿蘇海上